

# 令和4年第10回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年10月21日(金) 午後2時00分

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、山家一博 学校教育専門監、

5 開 会 午後2時00分

6 令和4年第9回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

舟山委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告 なし

(2) 専決事務報告 なし

8 議 事

議案第31号 特別支援教育支援員の任命について

(教育総務課長より説明)

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告(校長会資料による報告)

1 余震無し? 停電なし? その訓練変えていきませんか(大木聖子)

非現実的な避難訓練ではなく、現実的な訓練になるよう、避難訓練計画の見直しを図っていただきたい。例えば、けが人の想定なども含めて。

## 2 教師の不適切な言動

### (1) 『教室マルトリートメント』（川上康則）

### (2) 「教室マルトリートメント」を防ぐために教師を追い詰めない組織づくりを（川上康則）

教師の不適切な言動で不登校になった話がある。特別支援学校における不適切な指導・マルトリートメント・教育虐待の事例について説明。教師の言動が、子どもに与える影響は大きいので、教師に追い詰められ感を抱かせないように配慮すべきである。

## 3 学習評価について

### (1) 学習評価に関する工夫（文部科学省）

### (2) 「年間評価計画」作成・活用に当たっての考え方（案）

### (3) 年間評価計画（大河原町教育委員会）

大河原町教育委員会で作成した「年間評価計画」について説明。今後、小中学校の教師で1冊ずつ持っていただき、改善等を加えていく。評価の基準となるので、保護者の問い合わせにも対応できる。

全国学力テストの活用。授業の最後に使用して評価するのも大事。

令和5年度に印刷して配布する。

丹羽委員	ある自治体で、教科書そっちのけで、学力だけを上げるのが報道された。事前対策だけを使って点数をあげるのは、本当の学力ではないと思う。
鈴木教育長	その通りである。当然、そのようなことはない。

## 4 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びにおける校内研修の役割（文部科学省）

教員免許更新制度が廃止され、校内研修の充実を図ることを目的に、教員研修計画に関する制度が創設された。当町で行っている「教師の指導力向上研修会」は、とてもマッチしている。

## 5 親が「これ」をするだけで、子どもの学力は上がる！（榎本博明）

読書をするとう学力が上がる。町内の小中学生の読書量は年々少しずつ増加しているが、全国平均冊数と比べると、小学生は1/2、中学生は1/4となっている。

図書館の充実大事。予算を上げて図書館の充実を図る。やはり、全国平均から見ると図書購入費が少ない。

丹羽委員	図書館の司書が居ると思うが、毎月1年生から6年生までおすすめの本をアピールできれば良いと思う。本を読むすばらしいことの意味。
鈴木教育長	活字に親しむことは非常に重要である。

## 6 理科教育

### ○子どものつまずきを解決する（東京書籍）

東京書籍では毎年実施している標準学力調査の結果を分析しており、理科のつまずきを明らかにしている。中でも、正答率が低い問題で、小学5年の「物のとけ方」、中学1年の「地層のでき方」がある。その対策等についての説明である。

## 7 企業との連携における体験活動について

大中2年生が企業見学した。学校と企業が連携することが推進されており、各学校で、次年度の職場見学、社会見学の計画を立てる際、アイリスオーヤマも選択肢のひとつとして考えていただきたい。

## 8 人事について

長期研修について説明。

## 9 その他

資料に基づき授業・行事・大会・研修会等の説明。

丹羽委員	大河原小学校の岩間校長先生。毎朝、交通指導していただいて、ありがたいと思う。 教室マルトリートメントの話。家庭教育も学校教育も同じ。本当に考えて子どもに接しなければならない。
舟山委員	年間評価計画の話。感動した。大変すばらしい。学力テストなど、日常の学習に入れて、活かせるようにした。良かった。
一盃森委員	年間評価計画の話。とてもすばらしくびっくりしました。指導と評価の一体化が大事。根拠のある指導と子どもの育み。ずっとテーマで行ってきた。今後も、根拠が大事。 ルーブリック評価。対話的で深い学びを進める上で欠かすことができない。授業中、発言しないがテストは伸びている子どももいる。そういう活動の中で見取っていく作業は大事。授業づくりに取り組んでいただきたい。 教科の指導。どのような場面で扱うことができるか。
鈴木教育長	今は対話文もかなり入ってきている。国語だけでなく理科・数学でも。国では対話的学びをテーマにしている。
一盃森委員	図書の話。前に話題になったが、学校規模の小さいところは、学校図書を備え付け備品と考えると、中々人気のある図書が揃わない。たくさん読まれる図書は壊れる。同じものでも何冊も必要。ある程度読んだら廃棄。新しくする。そのようにしないと、子どもが手にする頻度が上がらない。予算に配慮をお願いしたい。全国と比べ開きがある。

小山委員	親がこれをするだけでの話。親が読む家は子どもも読書をする。ビルゲイツの話で、毎週家族で読書タイムがあった。周りが、親が読まないとも読まないと思う。
	図書だよりも定期的にでているので、親も読書してもらおうと良い。
	年間評価計画の話。家庭の方にも評価方法を教えていただきたい。
鈴木教育長	保護者にも説明は必要である。
丹羽委員	本を読む子は、本に触れる機会がないと。信頼される人は相手を感謝して信じなければならない。
舟山委員	令和4年度全国学力・学習状況調査のP10 児童生徒質問結果。先生方が日ごろから良い指導をしていると言える。
	読書の話。小さいころからの習慣がでてくると思う。
丹羽委員	親が無理のないところで、子の幸せを願う。親も楽しむ。子どもも楽しむ。普段の生活の中で学びがある。
一盃森委員	だから、学校教育が大事。ゲームなどの影響。学校でテーマなどで考えて発信しないとだめだと思う。心の教育も人間関係も全部学校教育で大変であるが、やはり最後の砦として大事である。
丹羽委員	先生方に負担かけたくないが、無理はしてほしくない。上司の方は、頑張っている姿を見ていると、声をかけてあげてほしい。
一盃森委員	P19 令和の日本型学校教育の話。宮城県として臨む教員の姿が変わっているのか。
鈴木教育長	変わってきている。
一盃森委員	初任者だけでなく、研修を重ねるのが大事。
小山委員	ゲームの時間が増えている話。スマホを持つ子が多い。スマホ依存が生活の一部になっていて、朝起きられない子もいる。
丹羽委員	学校の先生、親が言ってもだめ。子ども同士で話し合わないと治らない。
鈴木教育長	R5 子ども同士で集まって、話し合いをする場を予定している。

## (2) 各課長報告

### 教育総務課長、生涯学習課長

行事予定について説明。

### 学校教育専門監

令和4年度全国学力・学習調査結果について

## 10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和4年11月25日(金)午後2時から開催する。

1 1 閉会宣言 午後 4 時 00 分

令和 4 年 11 月 25 日

署名委員

署名委員